

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-510693(P2008-510693A)

【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-014

【出願番号】特願2007-526570(P2007-526570)

【国際特許分類】

C 0 7 C 211/10 (2006.01)

C 0 7 C 15/14 (2006.01)

C 0 7 C 15/02 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

C 0 7 F 15/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 211/10 C S P

C 0 7 C 15/14

C 0 7 C 15/02

A 6 1 K 33/24

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/44

C 0 7 F 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月6日(2008.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

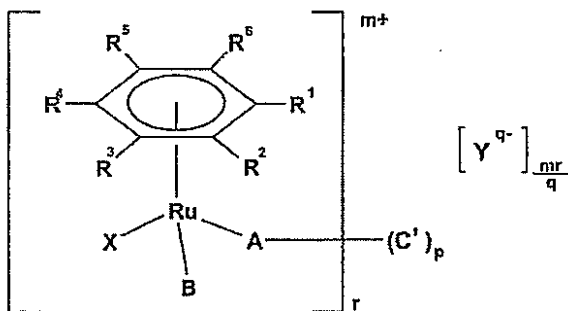
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(1)：

【化1】



(I)

[式中、

R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>及びR<sup>6</sup>は、独立して、H、C<sub>1-7</sub>アルキル、C<sub>5-20</sub>アリール、C<sub>3-20</sub>へ

テロシクリル、ハロ、エステル、アミド、アシル、スルホ、スルホンアミド、エーテル、チオエーテル、アゾ及びアミノから選択されるか、又は、 $R^1$ と $R^2$ はそれらが結合している環と一緒にあって、3員～8員の炭素環又はヘテロ環を最大3つ含んでいる飽和又は不飽和の炭素環式基又はヘテロ環式基(ここで、炭素環又はヘテロ環の各環は、1つ以上の他の炭素環又はヘテロ環に縮合していてもよい)を形成しており；

Xは、中性であるか又は負に荷電しているN-ドナー配位子又はS-ドナー配位子であり；

Yは、対イオンであり；

mは、0又は1であり；

qは、1、2又は3であり；

C'は、2つのA基に結合している $C_{1-12}$ アルキレンであり；

pは、0又は1であり、pが0である場合はrは1であり、pが1である場合はrは2であり；

及び、

A及びBは、それぞれ独立して、O-ドナー配位子、N-ドナー配位子又はS-ドナー配位子であり、そして、互いに連結していてもよい]

で表される、ルテニウム(II)化合物又はその溶媒和物若しくはプロドラッグ。

【請求項2】

Xが、アジド、イソチオシアネート及び場合により置換されていてもよいピリジン配位子から選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

Xがチオラート配位子である、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

AとBと一緒にあって、 $NR^{N4}R^{N5}-(CR^{C1}R^{C2})_n-NR^{N6}R^{N7}$ (ここで、 $R^{C1}$ 及び $R^{C2}$ は、独立して、H及び $C_{1-4}$ アルキルから選択され、 $R^{N4}$ 、 $R^{N5}$ 、 $R^{N6}$ 及び $R^{N7}$ は、独立して、H及び $C_{1-4}$ アルキルから選択され、nは、1～4の整数である)を表す、請求項1～3のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項5】

$R^{14}$ 及び $R^{15}$ がいずれも水素である、請求項4に記載の化合物。

【請求項6】

nが2である、請求項4又は5のいずれかに記載の化合物。

【請求項7】

$R^{N4}$ 、 $R^{N5}$ 、 $R^{N6}$ 及び $R^{N7}$ がHである、請求項4～6のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項8】

$R^1$ と $R^2$ がそれらが結合している環と一緒にあって、3員～8員の炭素環又はヘテロ環を含んでいる飽和又は不飽和の炭素環式基又はヘテロ環式基(ここで、炭素環又はヘテロ環の各環は、1つ以上の他の炭素環又はヘテロ環に縮合していてもよい)を形成している、請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項9】

$R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 及び $R^6$ がHである、請求項8に記載の化合物。

【請求項10】

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 及び $R^6$ が、独立して、 $C_{1-7}$ アルキル、 $C_{5-20}$ アリール、 $C_{3-20}$ ヘテロシクリル、ハロ、エステル、アミド、アシル、スルホ、スルホンアミド、エーテル、チオエーテル、アゾ及びアミノから選択される、請求項1～7のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項11】

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 及び $R^6$ が、独立して、H及び $C_{1-7}$ アルキルから選択される、請求項10に記載の化合物。

【請求項12】

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 及び $R^6$ のうちの少なくとも4つが水素である、請求項10又は11に記載の化合物。

【請求項13】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか1項に記載の化合物及び製薬上許容される担体又は希釈剤を含んでいる、組成物。

【請求項 1 4】

癌を治療するための医薬の調製における、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか1項に記載の化合物の使用。